

システム開発（変更）計画書

総合窓口推進室 証明書オンライン申請システム

1	開発システム名 新規 変更)	宇部市証明書オンライン申請システム（仮）
2	目的	デジタル市役所構築の一環として、オンライン上で住民票の写し等の各種証明書の申請及び決済が可能な証明書オンライン申請システムを構築することにより、市民サービスの向上を図るとともに、来庁の抑制による新型コロナウイルス感染症等の感染拡大防止及び行政事務の効率化を推進する。
3	開発システム概要	市民が自宅のPCやスマートフォンからオンラインで証明書の申請及び証明書手数料の決済が可能なシステムを、クラウドサービスの利用により構築する。 ※7月下旬委託業者決定、11月運用開始予定
4	現状・問題点及び開発の必要性	現在、証明書を取得する手段としては①市役所の窓口で取得、②マイナンバーカードを利用しコンビニ等で取得、③郵送請求で取得、の方法がある。①②については時間と場所の制約があり、③については定額小為替の準備等の手間と郵送（往復分）の時間を要するため、新たな証明書取得の手段として本システムを構築し、市民サービスの向上を図る。
5	記録項目	(1)申請者情報 住所、氏名、生年月日、性別、メールアドレス、電話番号 (2)申請する証明書の内容 ＜証明書全般＞ 対象者氏名、生年月日 ＜戸籍関係証明＞ 本籍、筆頭者 ＜転出証明書＞ 転出先住所 ＜固定資産関係証明＞ 所有する固定資産の情報 ＜軽自動車関係証明＞ 所有する軽自動車の情報 (3)決済情報 決済金額、クレジットカード情報
6	出力帳票	申請情報一覧 等
7	開発の効果	・証明書取得手段の増加による市民の利便性の向上 ・来庁の抑制による新型コロナウイルス感染症等の感染拡大防止 ・来庁客や郵送請求の減少による行政事務の効率化
8	外部への資料提供	なし
9	非開示事項	なし
10	委託処理	システム開発及び運用保守 (契約書に個人情報取扱特記事項を設定)
11	管理責任者	市民課長
12	実務責任者	市民課証明発行係長

証明書オンライン申請システムの概要

1 システムの概要

市民が自宅のPCやスマートフォンからオンラインで証明書の申請及び証明書手数料の決済が可能なシステムを構築する。
システム利用にはマイナンバーカードが必要となる。

<市民の利用イメージ>

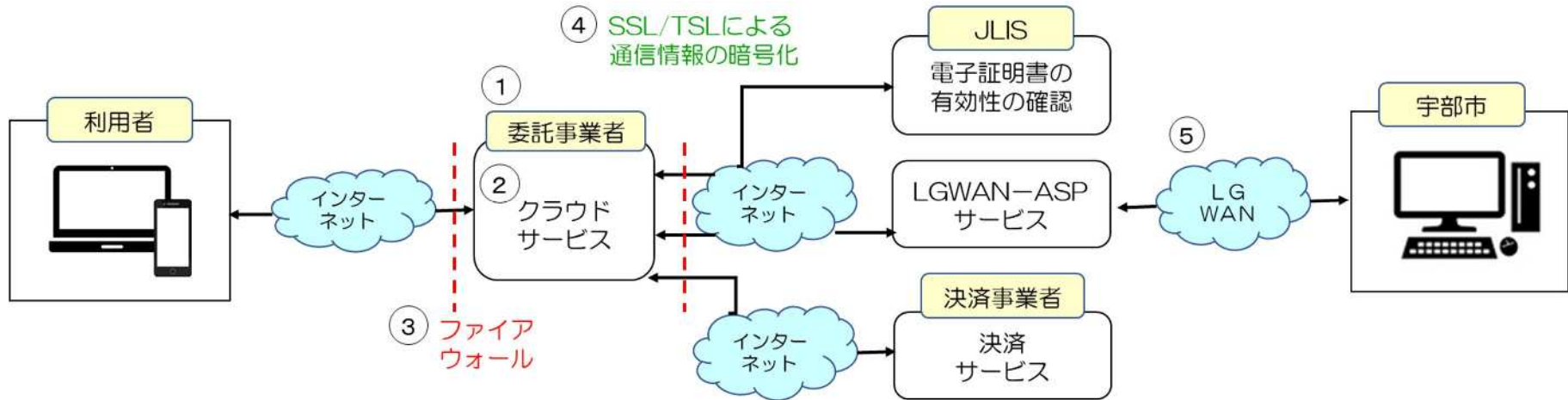
- ①宇部市公式ウェブサイトから証明書オンライン申請システムにアクセスし、必要な証明書の種類や内容を入力する。
- ②マイナンバーカードをスキャンし、公的個人認証による電子署名を行う。
- ③クレジットカード情報を入力し、手数料の決済を行う。
- ④申請完了。申請した証明書は市役所から後日郵送される。



2 システムの構成

クラウドで提供されるソフトウェアをネットワーク経由で利用する。

<ネットワーク構成イメージ>



<セキュリティ対策>

クラウドを活用する上で想定される主なリスクに対し、適切な対策を実施する。

- ① 開発及び運用保守を委託する事業者には、プライバシーマーク及び ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）の認証取得を求める。
- ② 個人情報を含んだデータを取り扱うサーバは日本国内に設置されたものを使用する。
- ③ 外部からの攻撃を防ぐため、ネットワーク上の不正アクセスをブロックする仕組み（ファイアウォール）や、WEB アプリケーションを保護する仕組み（WAF）を導入する。
- ④ 情報盗聴を防ぐため、SSL/TLS の利用により通信情報を暗号化する。
- ⑤ 総合行政ネットワーク（LGWAN 回線）を使用する。

<用語集>

公的個人認証	オンラインで（＝インターネットを通じて）申請や届出といった行政手続などやインターネットサイトにログインを行う際に、他人による「なりすまし」やデータの改ざんを防ぐために用いられる本人確認の手段です。「電子証明書」と呼ばれるデータを外部から読み取られるおそれのないマイナンバーカード等の IC カードに記録することで利用が可能となります。
クラウド	インターネットなどのネットワーク経由でユーザーにサービスを提供する形態のことです。ユーザーは自前でインフラ（サーバーやストレージ、ネットワーク等）やソフトウェアを持たずに、インターネットを通じてサービスを必要な時に必要な分だけ利用することができます。
プライバシーマーク制度	日本産業規格「JIS Q 15001 個人情報保護マネジメントシステム—要求事項」に適合して、個人情報について適切な保護措置を講ずる体制を整備している事業者等を評価して、その旨を示すプライバシーマークを付与し、事業活動に関してプライバシーマークの使用を認める制度です。
ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）認証	組織が情報セキュリティに関して必要最低限の定めるべき事項（規格の要求事項）を定め、それに基づき運用されているかを、第三者（認証機関）が審査し、基準を満たす組織に対し認証を与える制度です。
ファイアウォール	「防火壁」を意味し、外部と内部のネットワークの境界線で一定のルールを基に異常を監視し、外部からウイルスなどの不審なものが侵入しようとするのを防ぎ、また、内部から個人情報や機密情報などの重要なデータが勝手に送信されようとするのを防ぐ仕組みです。
WAF	「Web Application Firewall」の略でありファイアウォールの一種で、従来のファイアウォールでは防げない Web アプリケーションに対する不正な攻撃を防御するセキュリティシステムです。
SSL/TLS	SSL（Secure Sockets Layer）/TLS（Transport Layer Security）とは、インターネット上で通信を暗号化する技術です。パソコンとサーバ間の通信データを暗号化することで、第三者によるデータの盗聴や改ざんなどを防ぐことができます
総合行政ネットワーク（LGWAN 回線）	高度なセキュリティを維持した行政専用のネットワーク（インターネットから切り離された閉域ネットワーク）です。